

# 個人質問

33人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

## 観光・まちづくり Tourism Community Planning

目標を上回る来場となった  
岡山芸術交流2019

**問** 約31万1千人が来場したが事業を振り返っての見解は。また今後どのように芸術・文化交流を育てていくのか。

**答** 前回の1.8倍の76校、約4,600人の小・中学生が鑑賞し、豊かな感性を育む一助になったと考える。また、瀬戸内国際芸術祭2019との広報連携の強化、京橋クルーズの運行等で誘客の相乗効果が図れた。

現代アートはまだなじみが薄いため、入門者への配慮も必要かと考えており、市民アンケートや、現代アートをテーマにした議論を深める機会を設けるなどし、今後について検討したい。



旧内山下小学校の作品を鑑賞する来場者

情報発信や魅力アップで  
日本遺産エリアへ観光誘客

**問** 令和元年度に実施する日本遺産活用推進事業の進捗状況と成果は。2年度の事業予定は。

**答** J R西日本の主要路線で動画を放映するとともに、日本遺産を詳しく説明するリーフレットを作成中で、日本遺産を巡るモニターツアーを実施し、課題等の意見集約も行っている。ま

た、おもてなしプログラムの創出や観光ガイドの育成、統一的な看板の設置に向けた準備も進めている。地元の小学生による日本遺産の学習まんがを活用した研究発表や、地域の方による日本遺産関連本の出版といった自主的な動きも増えてきた。

2年度も、情報発信や魅力アップ、受け地（観光地）の整備を行い、インバウンド対策の強化など効果的な事業で、誘客を図っていききたい。

歩いて楽しい！岡山の顔づくり

**問** ※<sup>3</sup>岡山市都心創生まちづくり構想で、岡山城を核としたカルチャーゾーンを中心に、風格と魅力ある都市づくりを進めていくとしているが、進捗状況は。

**答** 令和元年12月には、岡山城天守閣前で中国経済産業局によるデニム産地など国産繊維産業を発信するためのイベントがあり、約1,300人が集まった。

2年度には、侍のお供が座ったという供腰掛休憩施設を設置予定で、石山公園のオープンカフェ運営、旭川かわまちづくり事業も動いており、岡山芸術交流2019では約31万人が来場した。このようなプラスの変化で、さらなる活性化を図っていく。

県庁通り一車線化の工事に着手

**問** 県庁通り一車線化の今後の整備スケジュールは。また、※<sup>4</sup>グリーンインフラはどのようにイメージしているか。

**答** 市役所筋～西川緑道公園の約290m区間は令和2年1月ごろに工事に着手する予定で、2年度末の完成を見込んでいる。柳川筋までの残り310m区間は2年度中に工事に着手し、3年度末までの完成を目指している。

車道を削減し歩道を拡幅することで、ゆとりある歩行空間を確保するとともに、街路樹の再整備で緑のボリュームアップと緑陰を創出し、居心地の良い憩いの空間を創り出していきたい。



一車線化を予定している県庁通り

平準化率を上げ人材不足を補う

**問** 建設業界の人材確保が難しくなっている。担い手確保には※<sup>5</sup>公共工事の平準化が必要で、※<sup>6</sup>ゼロ市債の活用や早期の繰り越し手続きを進めるべきでは。

**答** 平成30年度の本市の平準化率は0.69で、政令市平均の0.67を上回っており、一定の努力はしている。ゼロ市債は、28年度の予算規模1億3,000万円から令和2年度は5億8,500万円と増やしており、早期の繰り越し措置については、年度内での完工が見込めないと判断された時点で適切に対応していく。

平準化率を上げていくことは、人材不足を補う非常に良い措置であり、これからも一層努力をしていきたい。

### ◆用語解説 ※3【岡山市都心創生まちづくり構想】

岡山市の都市的ルーツと言うべき岡山城を中核とするカルチャーゾーンを中心に、城下町に伝わる歴史資産や文化資産を活かした、風格と魅力ある都市づくりを進めるための基本方針

### ◆用語解説 ※4【グリーンインフラ】

自然環境が有する多様な機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を、社会のさまざまな課題解決に活用しようとする考え方

## 教育・子育て

## Education Child Care



子どもの体をつくる学校給食

### 地産地消を取り入れた給食を

**問** 安心して子育てをするため、地産地消の給食を求める声が高まっているが、本市の地産地消率は改善しているか。学校給食のパンと麺の原料は国産か。

**答** 地場産物を積極的・計画的に取り入れ、地産地消に努めている。平成21年度から平均使用割合は食材数ベースで40%以上を継続しており、30年度は51%だった。

パンと中華麺、ソフト麺の配合割合は、岡山県産の米粉20%とアメリカ・カナダ産の小麦粉80%であり、うどんは国内産の小麦粉100%である。

### 教育支援アドバイザーの配置で学校の暴力行為に歯止めを

**問** 平成30年度の学校での暴力行為件数の調査結果をどう分析しているか。また、暴力行為の減少に向け、今後どのような対策を行うのか。

**答** 小学校では、組織的な指導体制づくりや家庭の協力が進んだことで暴力行為の発生件数は減少している。30年度から実施している教育支援アドバイザー事業で、配置校での暴力行為が減少しており、今後、他の学校にも広げていきたい。

中学校では1年生の暴力行為の件数が多く、今後、小中連携の強化を図りながら、1年生での発生を減少させることが必要と考える。

### 保育士確保のため

#### 賃金のさらなる上乗せを検討

**問** 保育士の賃金を2%上乗せする処遇改善支援は、令和元年度で終了する。2年度以降、上乗せを2%ではなく、月額1万円にしているか。

**答** 元年10月1日現在、本市の待機児童は若干増加している。認可施設の約26%は利用定員を下回る受け入れとなっており、大きな理由として、保育士不足が挙げられる。

こうした状況から、2年度以降も処遇改善支援を継続し、例えば、賃金の上乗せを現在の2%から3%へ引き上げる等の具体的な検討を行い、予算編成までに整理していきたい。



### 通室しやすい適応指導教室に

#### 保護者の負担軽減を検討

**問** 市内5カ所の適応指導教室への平成30年度の通室者数（小学生11人、中学生72人）をどう捉え、小学生の通室がない教室があることをどう考えるか。

**答** 30年度に適応指導教室で受けた不登校の相談件数は約3,000件で、一定程度の活用はされて

いると考えるが、子どもの状態や本人、保護者の意向を踏まえて受け入れを判断するため、通室者数は多くない。

小学生の通室が少ない要因の一つに、保護者の送迎が必要であることが考えられ、今後、保護者の負担を軽減することで通室しやすくなるよう検討する。

### 児童虐待の通報があれば

#### 速やかに安全を確認

**問** 「岡山市子どもを虐待から守る条例」では、通告（通報）から48時間以内に児童の安全確認を行わなければならないとしているが、児童相談所と警察の連携はとれているのか。

**答** こども総合相談所は、通告受理後、速やかに訪問等で児童の安全確認を行っている。

複数回の訪問等でも確認できない場合には、立ち入り調査、さらには臨検（裁判所の許可を受けた強制的な立ち入り）・捜索を行うことになるが、その際には警察へ援助依頼を行い、同行してもらっている。

### 市立の児童クラブへの入所は

#### 市が責任をもって取り組む

**問** 待機児童を生まないために施設整備と人の確保が必要だが、放課後児童クラブへ入所できない子どもが出る責任はどこにあるのか。また、クラブへ作業療法士の派遣を行うべきでは。

**答** 新体制移行後は、市が責任を持って、必要な子どもを受け入れられるよう取り組んでいきたい。

また、入所児童の中に特別な支援を必要とする児童が増加しているため、作業療法士を含む専門スキルを持った人材の活用を今後検討していきたい。

### ◆用語解説 ※5【公共工事の平準化】

公共工事は、年度初めに工事量が少なくなる一方、年度末には工事量が集中する傾向がある。このような工事量の偏りを解消し、年間を通じて工事量を安定させること

### ◆用語解説 ※6【ゼロ市債】

工事発注の施工時期の平準化及び適正な工期設定をするために、当該年度の事業費をゼロとして設定する債務負担行為

## 暮らし・防災 Life Disaster Prevention

生鮮食料品の安定供給を目指し中央卸売市場の規制緩和

**問** 平成30年の卸売市場法の改正で、<sup>※7</sup>第三者販売の禁止、直荷引きの禁止、商物一致原則等の規制が撤廃されたことをどう考えるか。また、中央卸売市場等を民営化しないと表明しては。

**答** 国は食品流通の合理化等を促進するため取引規制を廃止したが、規制は市場ごとに定められる。岡山市中央卸売市場では、市場関係者と協議等を行い、最終的には市民への生鮮食料品の安定供給につながるよう規制を廃止する方向。

また、生鮮食料品流通の中で市場が果たす役割は非常に重要で、当面自治体が開設者として運営することが必要と考える。



岡山市中央卸売市場でのせりの様子

人口減少局面を迎えた岡山市

**問** 社会増で人口を増やしてきた本市でも、人口減少が続く国と同様に今後は厳しい状況だ。令和2年度の事業や市総合計画の後期計画に、人口減少への対応を明確に打ち出した新たな政策を盛り込むべきでは。

**答** 本市の人口は、元年10月1日で前年同期比で社会増684人、自然減1,148人の計464人の減となり、平成30年11月をピークに人口減少局面を迎えたと考える。

今後、子育て環境を良くして出生率のアップに寄与したり、産業を活性化するなど、さまざまな施策が必要であり、対策を講じていきたい。

温暖化防止をSNSで呼びかけ

**問** 地元スポーツ選手などがSNSで<sup>※8</sup>COOL CHOICEの啓発活動をしているが、どのくらいの効果が出ているか。

**答** 市民や事業者に、地球温暖化防止に向けたライフスタイルへの転換を促すことを目的に、令和元年10月、facebookに「岡山市COOL CHOICE」という公式ページを開設した。

この2カ月間で、岡山シーガルズやトライフープ岡山の選手が自ら実践している環境に優しい取り組みの紹介や、本市が実施する啓発事業の広報など32件の投稿を行い、約3,600件の閲覧数となっている。

納税などのキャッシュレス化に向けサービスや手法を検討

**問** 近年、さまざまな決済手段が導入され社会全体でキャッシュレス化が進んでいる。行政機関も対応していく必要があると考えるが、検討状況は。

**答** 対象として市有施設の入場料や使用料、証明書交付手数料、市税や国保料の納付などを想定し、関係課で協議を始めた。

現在、他都市事例の調査などで決済の仕組みの理解と課題の抽出を行っている。費用対効果、市民サービスの向上、業務効率化の観点から、どんなサービスや手法が適しているか、導入に向け検討を進めていきたい。

災害時に備え小・中学校にマンホールトイレを整備

**問** 令和元年度に御南小学校で<sup>※9</sup>マンホールトイレが整備されたが、今後はどの避難所が整備対象となるか。また、条件は。

**答** 岡山市地域防災計画で指定避難施設に位置付けられている小・中学校のうち、下水道整備区域内を対象としており、小学校では91校中61校、中学校では37校中25校が対象となる。

整備にあたっては、マンホールトイレ上部を収納できる備蓄倉庫があり、体育館と水源となるプールが近接している必要がある。今後は年度ごとに4校を整備していく。



整備を進めるマンホールトイレ

最大規模の大雨を想定して洪水ハザードマップを改訂

**問** ハザードマップの想定雨量はどれくらいか。変更の予定はあるか。また、浸水の可能性が高い道路などを表示しては。

**答** 水系により違いはあるが、旭川流域で48時間の総雨量が257mmとなっており、令和元年度に全戸配布予定の小学校ごとのハザードマップは、その想定雨量で作成する。

2年度に改訂予定のものは、想定される最大規模の大雨（旭川流域で48時間の総雨量756mm）の洪水浸水想定区域の表示や、道路の浸水の可能性について、海拔の表示を検討している。また、より見やすくなるよう市域を19区郭に分割する。

◆用語解説 ※7【第三者販売の禁止/直荷引きの禁止/商物一致原則】

卸売業者は、市場内の仲卸業者、売買参加者以外に卸売りをしてはならない/仲卸業者は、市場内の卸売業者以外から買い入れて販売してはならない/卸売業者は、市場内にある生鮮食料品等以外の卸売りをしてはならない

◆用語解説 ※8【COOL CHOICE（クールチョイス）】

2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動